

だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例「施設整備マニュアル」改訂内容一覧

ファイル名	頁	改訂前	改訂後
表紙・はじめに・目次	目次		VI章 その他 1 改正された要項…………… VI-2 [1]令和3年3月改正概要 [2]小規模店舗に関する事項 [3]令和4年10月改正概要
		VI章 参考資料	VII章 参考資料
序章	序ー 9	□事例 さまざまな利用者に配慮したトイレ 多様な利用者に配慮しつつ、多機能ブースにすべての設備（A:車いす対応・B:オストメイト対応・C:乳幼児用設備）をまとめ、その他のブースは一般的な広さのブースとするのではなく、「少し広めのブースの設置・複数個所に乳幼児用設備の設置」を計画することで、快適に利用できるよう工夫されています。	□事例 さまざまな利用者に配慮したトイレ 多様な利用者に配慮しつつ、多機能ブースにすべての設備（A:車いす対応・B:オストメイト対応・C:乳幼児用設備）をまとめ、その他のブースは一般的な広さのブースとするのではなく、「少し広めのブースの設置・複数個所に乳幼児用設備の設置」を計画することで、快適に利用できるよう工夫されています。今後は、多機能便房への利用者の集中を避けるため、施設の用途や利用状況を勘案し、障害者等に必要な個別機能トイレとする事が望ましいです。
	序ー 18	（参考：国土交通省 公共交通ガイドライン P.6、旅客船バリアフリーガイドライン P.116、厚生労働省 HP（認知症への取り組み））	（参考：国土交通省 公共交通ガイドライン、旅客船バリアフリーガイドライン、厚生労働省 HP（認知症への取り組み））
	序ー 22	国土交通省のバリアフリー基本構想制度の概要については、こちらをご覧ください。 http://www.mlit.go.jp/common/001145391.pdf	国土交通省のバリアフリー基本構想制度の概要については、国土交通省 HP をご覧ください。

【第1章】建築物等の整備に関する事項(1-1)	I - 17	(図 I.1.9~11) [12] 標識 P.106 参照	(図 I.1.9.1~11) 削除																										
	I - 18	屋根又は庇がないと雨天時の乗降に困難が生じる。屋根又は庇を設ける場合には、車いす用リフト付車両等に対応した天井高さを確保する（一般的な車いす用リフト付車両の高さは、230cm 程度である）。 ゆずりあい駐車区画	屋根又は庇がないと雨天時の乗降に困難が生じる。屋根又は庇を設ける場合には、車いす用リフト付車両等に対応した天井高さを確保する（一般的な車いす用リフト付車両の高さは、230cm 以上である）。(図 I.1.9.1) 思いやり駐車区画																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">解説図一覧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図 I.1.9 車いす使用者用駐車施設の設置例</td> <td>P.I-20</td> </tr> <tr> <td>図 I.1.10 駐車場の改善例</td> <td>P.I-20</td> </tr> <tr> <td>図 I.1.11 駐車場の歩車分離の例</td> <td>P.I-21</td> </tr> <tr> <td>図 I.1.12 車いす優先区画とゆずりあい駐車区画のマーク</td> <td>P.I-21</td> </tr> <tr> <td>図 I.1.13 案内標識等の例</td> <td>P.I-21</td> </tr> </tbody> </table>	解説図一覧		図 I.1.9 車いす使用者用駐車施設の設置例	P.I-20	図 I.1.10 駐車場の改善例	P.I-20	図 I.1.11 駐車場の歩車分離の例	P.I-21	図 I.1.12 車いす優先区画とゆずりあい駐車区画のマーク	P.I-21	図 I.1.13 案内標識等の例	P.I-21	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">解説図一覧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図 I.1.9.1 車いす使用者用駐車施設の高さ</td> <td>P.I-19</td> </tr> <tr> <td>図 I.1.9.2 車いす使用者用駐車施設の設置例</td> <td>P.I-20</td> </tr> <tr> <td>図 I.1.10 駐車場の改善例</td> <td>P.I-20</td> </tr> <tr> <td>図 I.1.11 駐車場の歩車分離の例</td> <td>P.I-21</td> </tr> <tr> <td>図 I.1.12 車いす優先区画と思いやり駐車区画のマーク</td> <td>P.I-21</td> </tr> <tr> <td>図 I.1.13 案内標識等の例</td> <td>P.I-21</td> </tr> </tbody> </table>	解説図一覧		図 I.1.9.1 車いす使用者用駐車施設の高さ	P.I-19	図 I.1.9.2 車いす使用者用駐車施設の設置例	P.I-20	図 I.1.10 駐車場の改善例	P.I-20	図 I.1.11 駐車場の歩車分離の例	P.I-21	図 I.1.12 車いす優先区画と思いやり駐車区画のマーク	P.I-21	図 I.1.13 案内標識等の例	P.I-21
	解説図一覧																												
図 I.1.9 車いす使用者用駐車施設の設置例	P.I-20																												
図 I.1.10 駐車場の改善例	P.I-20																												
図 I.1.11 駐車場の歩車分離の例	P.I-21																												
図 I.1.12 車いす優先区画とゆずりあい駐車区画のマーク	P.I-21																												
図 I.1.13 案内標識等の例	P.I-21																												
解説図一覧																													
図 I.1.9.1 車いす使用者用駐車施設の高さ	P.I-19																												
図 I.1.9.2 車いす使用者用駐車施設の設置例	P.I-20																												
図 I.1.10 駐車場の改善例	P.I-20																												
図 I.1.11 駐車場の歩車分離の例	P.I-21																												
図 I.1.12 車いす優先区画と思いやり駐車区画のマーク	P.I-21																												
図 I.1.13 案内標識等の例	P.I-21																												
I - 19																													
I - 20	図 I.1.9 車いす使用者用駐車施設の設置例	図 I.1.9.2 車いす使用者用駐車施設の設置例																											

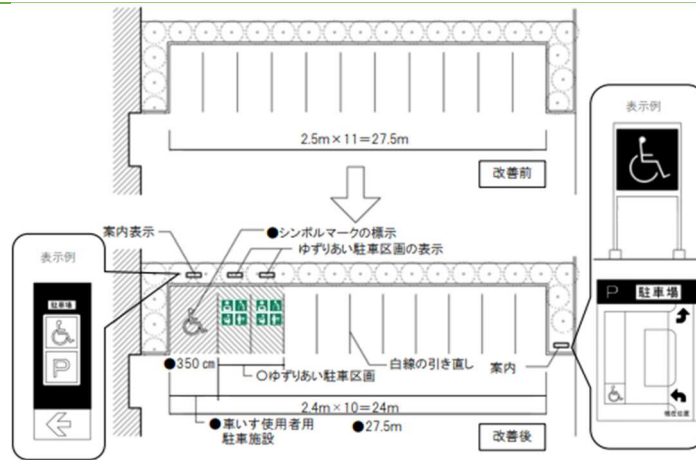


図 I.1.10 駐車場の改善例

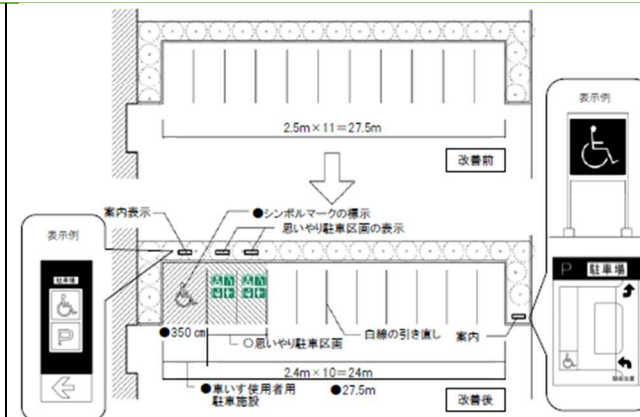


図 I.1.10 駐車場の改善例

I - 21



車いす優先区画 (青色) ゆずりあい駐車区画 (緑色)

○対象区画を表すマーク

○区画設置例

※車いす優先区画とゆずりあい駐車区画はできるだけ同数を設置してください。

車いす使用者用駐車施設とは別に、車いす使用者以外の障害者、高齢者、妊婦、付が人など、移動に配慮が必要な利用者に配慮し、出入口近くに当該利用者のゆずりあい駐車区画を設けることが望ましい。

図 I.1.12 車いす優先区画とゆずりあい駐車区画のマーク



車いす優先区画 (青色) ゆずりあい駐車区画 (緑色)

○対象区画を表すマーク

○区画設置例

※車いす優先区画とゆずりあい駐車区画はできるだけ同数を設置してください。

車いす使用者用駐車施設とは別に、車いす使用者以外の障害者、高齢者、妊婦、付が人など、移動に配慮が必要な利用者に配慮し、出入口近くに当該利用者のゆずりあい駐車区画を設けることが望ましい。

図 I.1.12 車いす優先区画とゆずりあい駐車区画のマーク

【第1章】
建築

I - 40
I - 48
I - 50

P.IV-19、P.IV-20 参照
(図 I.1.43)
(図 I.1.44)

(P.VI-19、P.VI-20)参照
(図 I.1.42)
(図 I.1.42、図 I.1.44)

物等の整備に関する事項(1-2)	I-52	<p>図 I.140 エレベーターの仕様</p>	<p>●135 cm以上 ○座位変換型の電動車椅子使用者等の利用に配慮し、主要な経路上のエレベーターの幅の奥行きは、150cm 以上とすることが望ましい。</p> <p>図 I.140 エレベーターの仕様</p>
	I-57	<p>○高齢者、障害者等に配慮し、乗降口のステップの水平部分は3枚程度とし、定常段差となるまで5枚程度とする。(図△)</p> <p>国公共交通ガイドライン (P.I-61 参照)</p>	<p>○高齢者、障害者等に配慮し、乗降口のステップの水平部分は3枚程度とし、定常段差となるまで5枚程度とする。(図 I.146)</p> <p>削除</p>
【第1章】建築物等の整備に関する事項(2-	I-63	建築設計標準 P2-73	削除
	I-67	<p>(図 I.2.1.19)</p> <p>(図 I.2.1.19)</p> <p>(図 I.2.1.25)</p> <p>(図 I.2.1.5)</p> <p>(図 I.2.1.26)</p> <p>(図 I.2.1.26)</p> <p>(図 I.2.1.12)</p> <p>(図 I.2.1.29)</p>	<p>(図 I.2.1.19)</p> <p>(図 I.2.1.19)</p> <p>(図 I.2.1.25)</p> <p>(図 I.2.1.5)</p> <p>(図 I.2.1.24)</p> <p>(図 I.2.1.24)</p> <p>(図 I.2.1.12)</p> <p>(図 I.2.1.27)</p>

1)	I - 68	(図 I .2.1.27) (図 I .2.1.27)	(図 I .2.1.25) (図 I .2.1.25) (図 I .2.1.30)
		○大人のおむつ交換をすることができる大型ベッドを一以上 設け、その出入口にその旨の表示を行う。大きさは幅 60cm 程度、長さ 150cm~180cm 程度とする。	○大人のおむつ交換をすることができる大型ベッドを一以上 設け、その出入口にその旨の表示を行う。大きさは幅 60~ 80cm 程度、長さ 150cm~180cm 程度とする。

解説図一覧	
図 I 2.1.1 便所の配置等を視覚障害者に示すための設備	P. I -74
図 I 2.1.2 手すり付き洗面器	P. I -75
図 I 2.1.3 車いす使用者が利用しやすい洗面器	P. I -75
図 I 2.1.4 水栓器具	P. I -75
図 I 2.1.5 車いす使用者用便所の計画例	P. I -76
図 I 2.1.6 簡易型車いす使用者用便所の計画例	P. I -77
図 I 2.1.7 個別機能を備えた便所及び多機能便所寸法	P. I -77
図 I 2.1.8 オストメイト用便所	P. I -78
図 I 2.1.9 オストメイト簡易型設備	P. I -79
図 I 2.1.10 その他の便所	P. I -79
図 I 2.1.11 洗浄ボタン等の標準配置例（「JIS S 0026」による）	P. I -80
図 I 2.1.12 手洗器を設ける場合の洗浄ボタン等の配置例	P. I -80
図 I 2.1.13 操作が容易な洗浄装置	P. I -81
図 I 2.1.14 非常呼び出し装置等	P. I -81
図 I 2.1.15 小便器	P. I -81
図 I 2.1.16 知的障害者に配慮した小便器	P. I -82
図 I 2.1.17 大型ベッド	P. I -82
図 I 2.1.18 ベビーベッド	P. I -82
図 I 2.1.19 便所・洗面所の例	P. I -83
図 I 2.1.20 便所・洗面所の改善例	P. I -84
図 I 2.1.21 小規模施設での改善例	P. I -85
図 I 2.1.22 大型ベッドを車いす使用者用便室内に設けた例	P. I -86
図 I 2.1.23 汚物流し（オストメイト用）及び大型ベッドを車いす使用者用便室内に設けた例（220cm × 280cm タイプ）	P. I -87
図 I 2.1.24 汚物流し（オストメイト用）及び大型ベッドを車いす使用者用便室内に設けた例（220cm × 250cm タイプ）	P. I -88
図 I 2.1.25 車いすから便器への移乗動作（アプローチ）の例	P. I -89
図 I 2.1.26 手すりの例	P. I -90
図 I 2.1.27 オストメイト対応設備の例	P. I -91
図 I 2.1.28 表示の例（1）	P. I -91
図 I 2.1.29 表示の例（2）	P. I -91
図 I 2.1.30 小児用洗面器の例	P. I -91
図 I 2.1.31 大型ベッドの例	P. I -91
図 I 2.1.32 蓋替え台の例	P. I -91

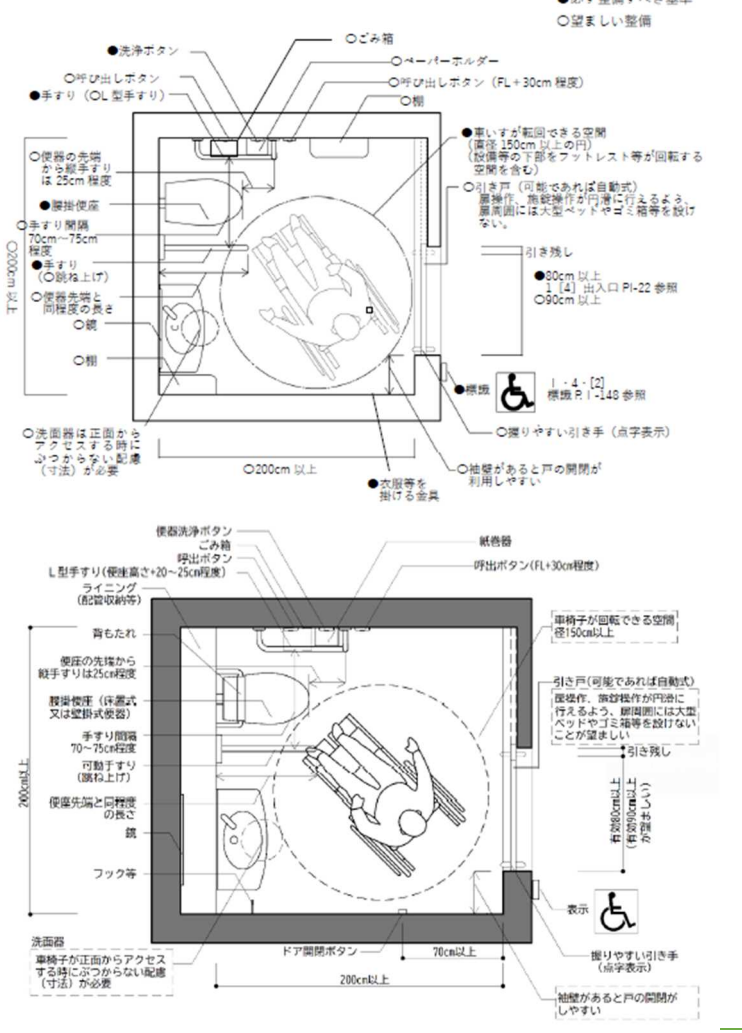
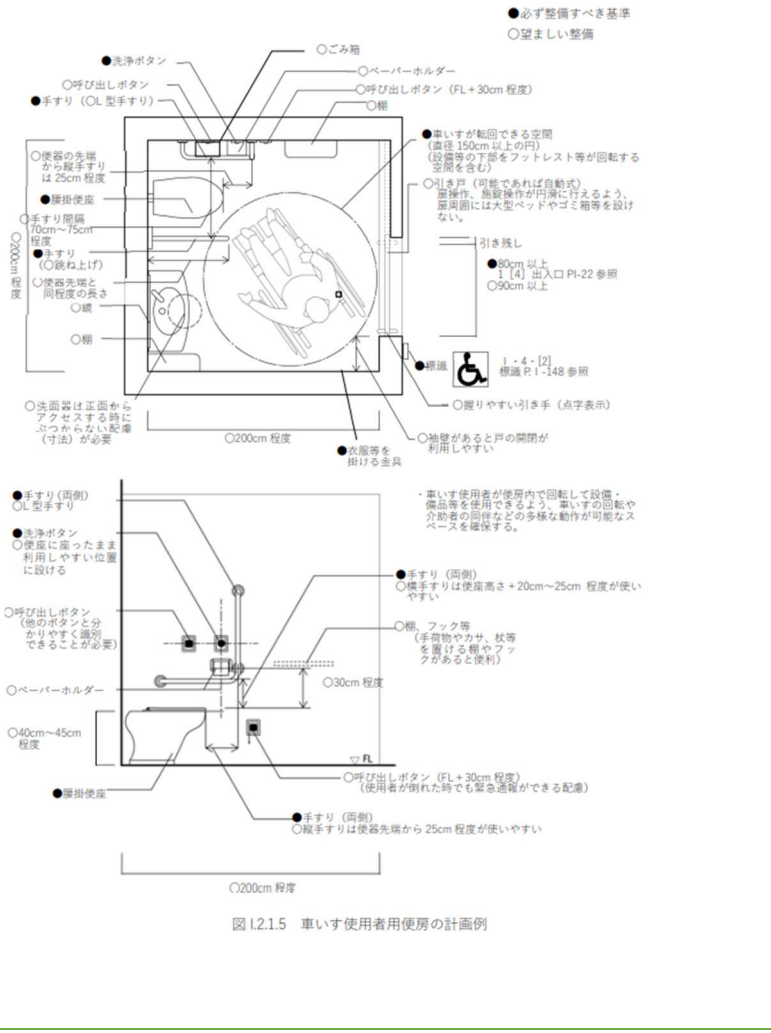
解説図一覧	
図 I 2.1.1 便所の配置等を視覚障害者に示すための設備	P. I -74
図 I 2.1.2 手すり付き洗面器	P. I -75
図 I 2.1.3 車いす使用者が利用しやすい洗面器	P. I -75
図 I 2.1.4 水栓器具	P. I -75
図 I 2.1.5 車いす使用者用便所の計画例	P. I -76、77
図 I 2.1.6 簡易型車いす使用者用便所の計画例	P. I -78
図 I 2.1.7 個別機能を備えた便所及び多機能便所寸法	P. I -79
図 I 2.1.8 オストメイト用便所	P. I -80
図 I 2.1.9 オストメイト簡易型設備	P. I -81
図 I 2.1.10 その他の便所	P. I -81
図 I 2.1.11 洗浄ボタン等の標準配置例（「JIS S 0026」による）	P. I -82
図 I 2.1.12 手洗器を設ける場合の洗浄ボタン等の配置例	P. I -82
図 I 2.1.13 操作が容易な洗浄装置	P. I -83
図 I 2.1.14 非常呼び出し装置等	P. I -83
図 I 2.1.15 小便器	P. I -83
図 I 2.1.16 知的障害者に配慮した小便器	P. I -84
図 I 2.1.17 大型ベッド	P. I -84
図 I 2.1.18 ベビーベッド	P. I -84
図 I 2.1.19 便所・洗面所の例	P. I -85
図 I 2.1.20 便所・洗面所の改善例	P. I -86
図 I 2.1.21 小規模施設での改善例	P. I -87
図 I 2.1.22 大型ベッドを車いす使用者用便室内に設けた例	P. I -88
図 I 2.1.23 汚物流し（オストメイト用）及び大型ベッドを車いす使用者用便室内に設けた例（220cm × 280cm タイプ）	P. I -89
図 I 2.1.24 手すりの例	P. I -90
図 I 2.1.25 オストメイト対応設備の例	P. I -91
図 I 2.1.26 表示の例（1）	P. I -91
図 I 2.1.27 表示の例（2）	P. I -91
図 I 2.1.28 小児用洗面器の例	P. I -91
図 I 2.1.29 大型ベッドの例	P. I -91
図 I 2.1.30 蓋替え台の例	P. I -91

I - 73

関連する章
 I・1・[4] 階段 (P.I-22)
 I・2・[4] 授乳場所 (P.I-105)
 I・4・と[2] 案内標示 (P.I 146)

関連する章
 I・1・[4] 出入口・玄関 (P.I-22)
 I・2・[4] 授乳場所 (P.I-105)
 I・4・[2] 案内標示 (P.I-146)

I - 76



●必ず整備すべき基準
○望ましい整備

小規模な施設（500㎡以下に限る）については、施設の構造上、十分な空間が確保できない場合が想定されるため、施設の状況に応じ、上記の寸法以上の簡易型便房でも可とする。（ただし、公衆便所を除く。）
また、保育所については、またる利用者が体格の小さい未就学児であることを考慮すると、車いす使用者用簡易型便房でも十分な空間の確保ができると考えられるため、施設の規模に関わらず簡易型便房の設置でも可とする。
なお、簡易型便房の場合、計画によっては、後ろに手をまわすことのできない車いす使用者が施設・開設できないため、例えば、大きな操作ボタンの付いた自動ドアを設置するなどの配慮をすることが望ましい。

【簡易型便房】

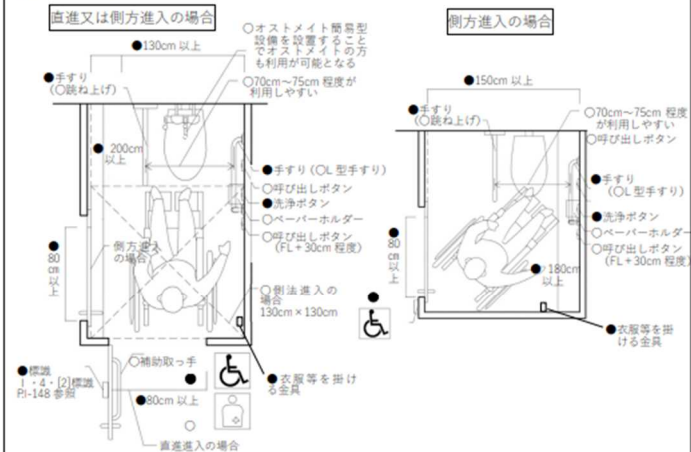


図 1.2.1.6 簡易型車いす使用者用便房の計画例

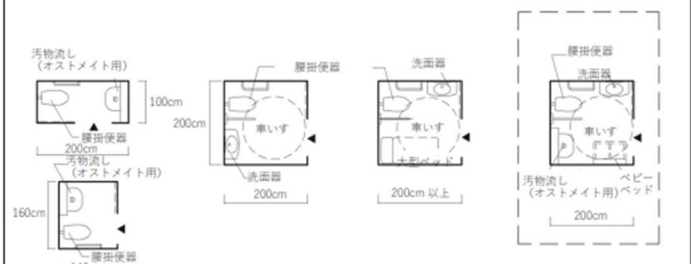


図 1.2.1.7 個別機能を備えた便房及び多機能便房寸法

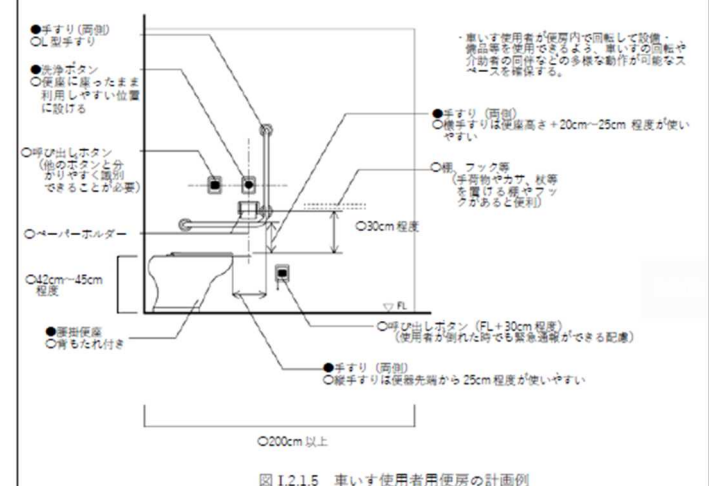
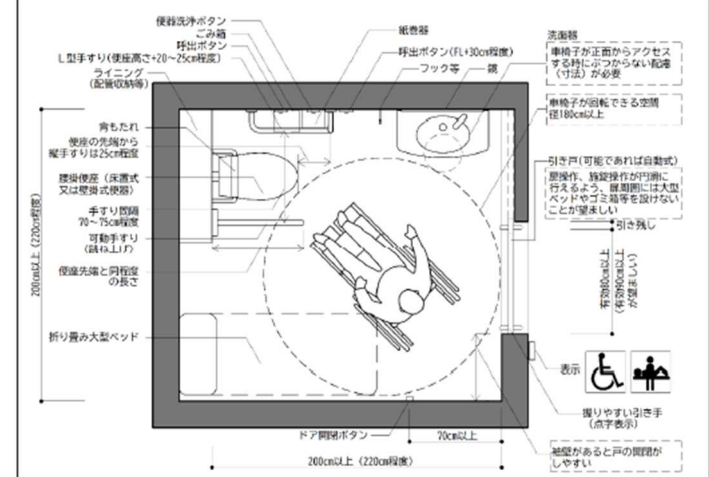
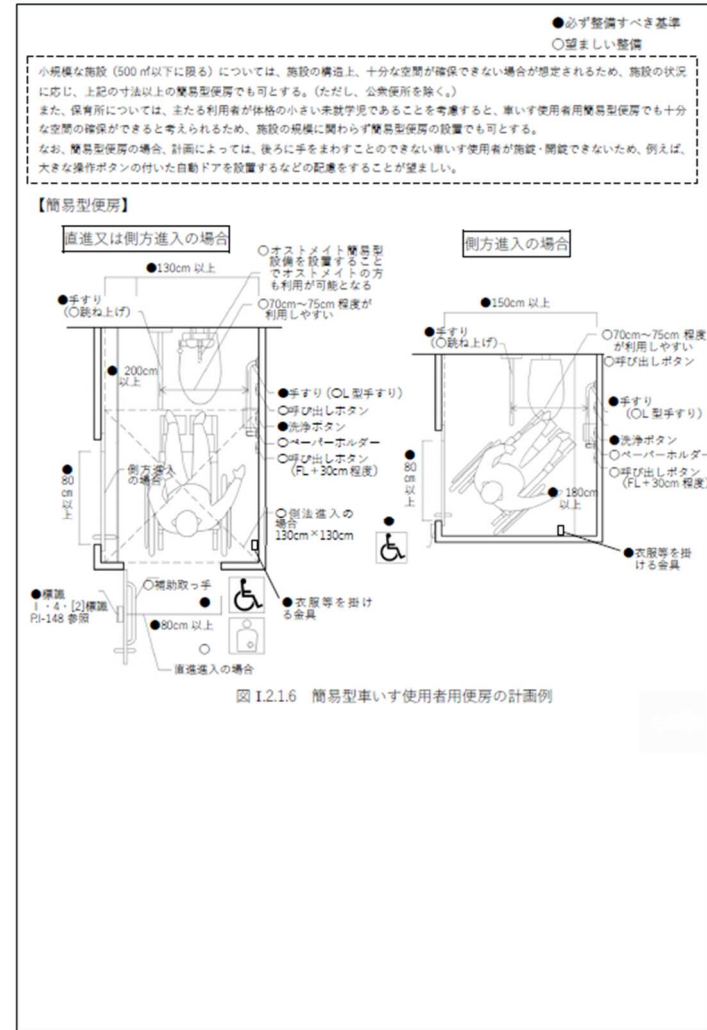
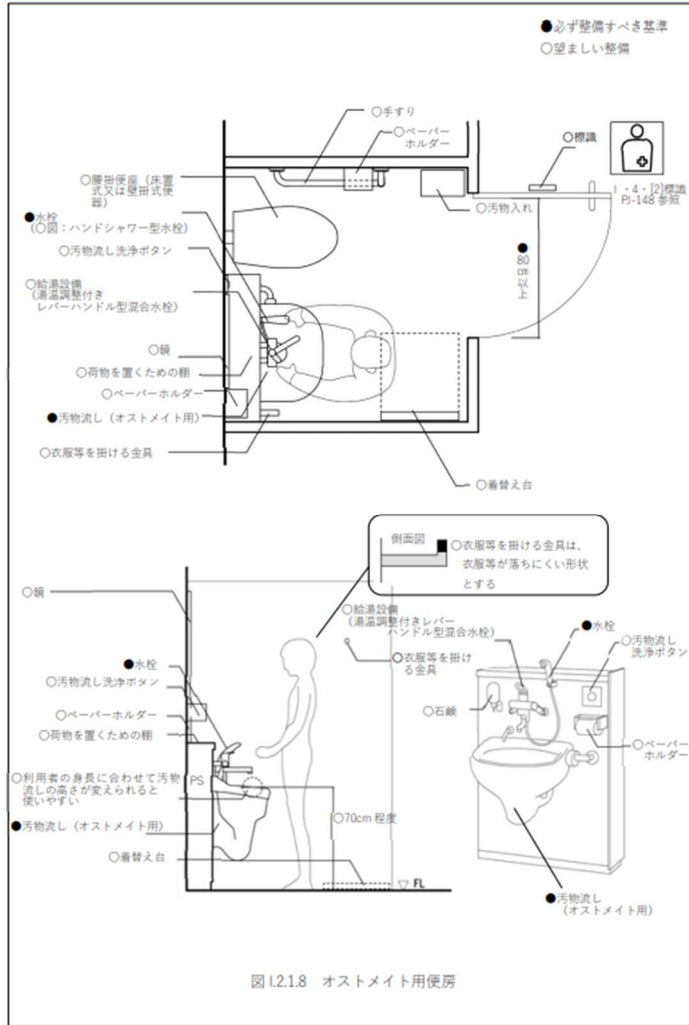
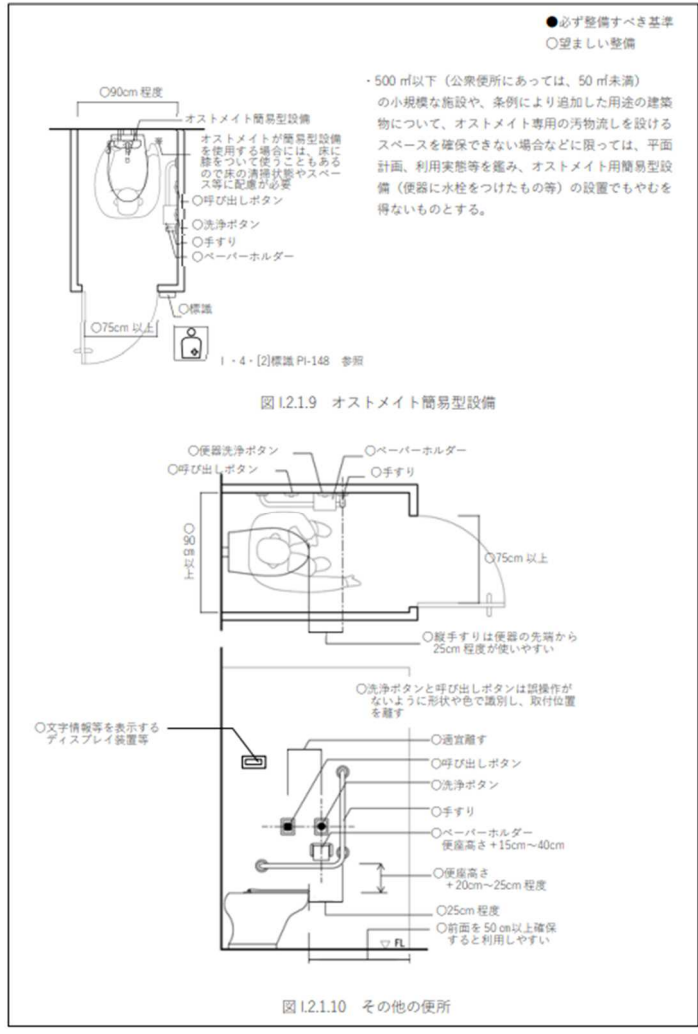
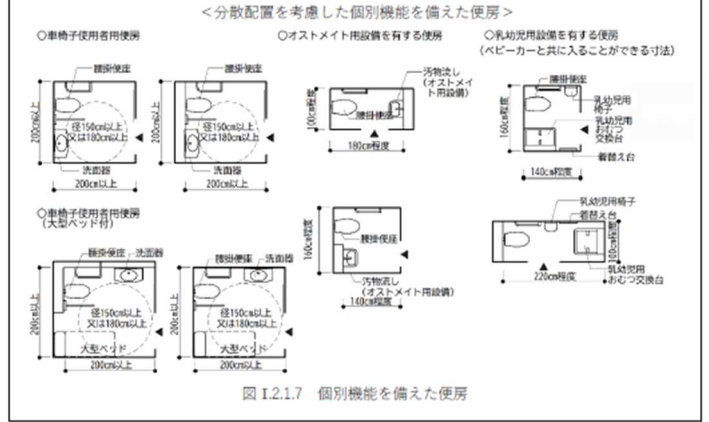
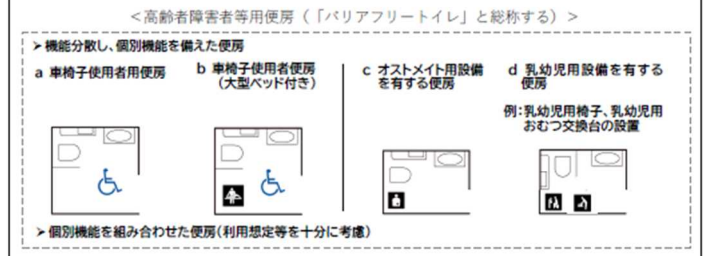
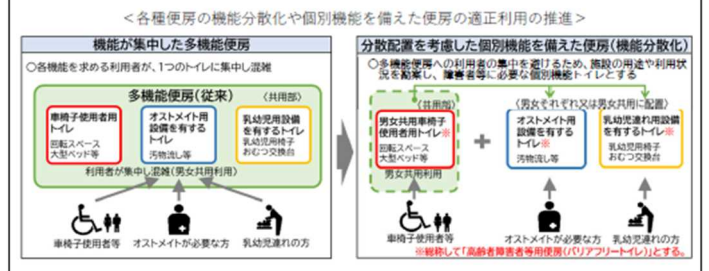


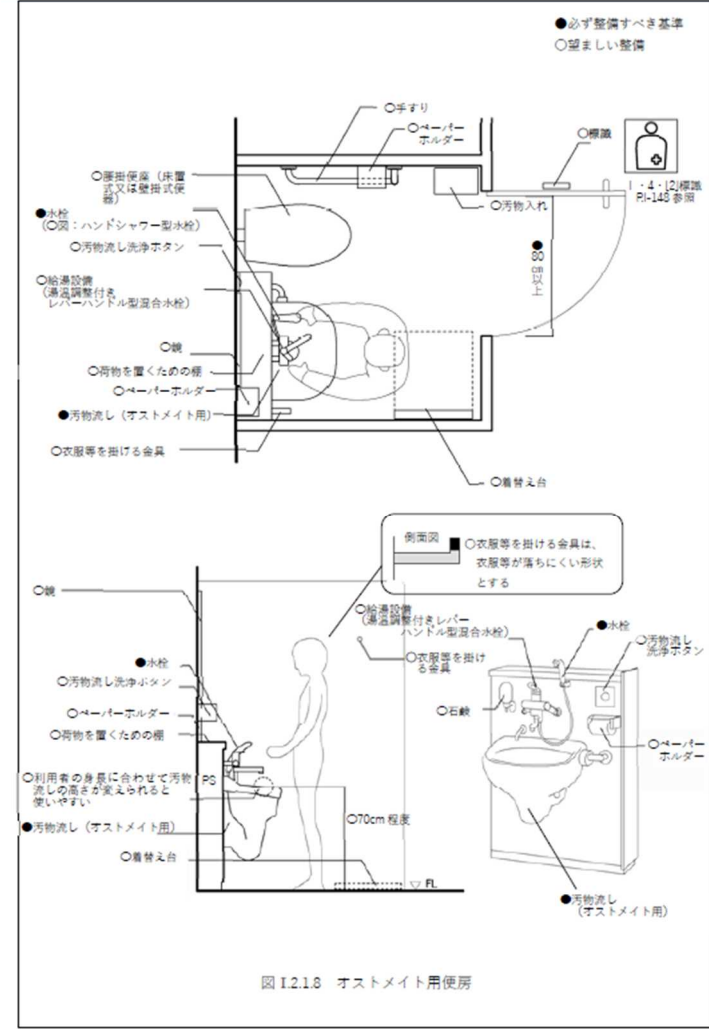
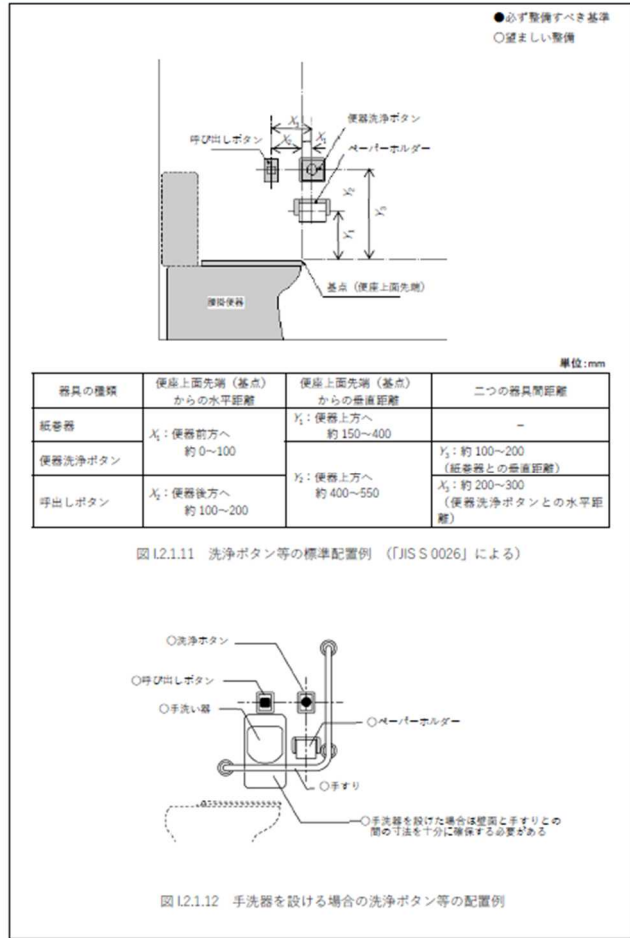
図 1.2.1.5 車いす使用者用便房の計画例





高齢者、障害者等が利用する個別機能を備えた便房等の適正利用を推進するために、各種便房を総称して「高齢者障害者等用便房（バリアフリートイレ）」と位置付ける。





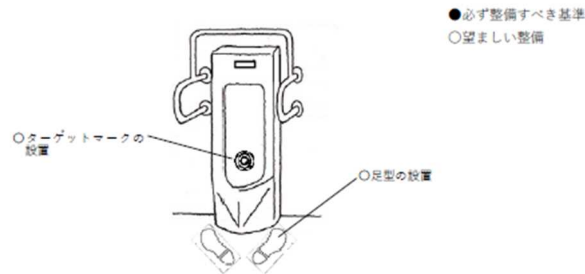
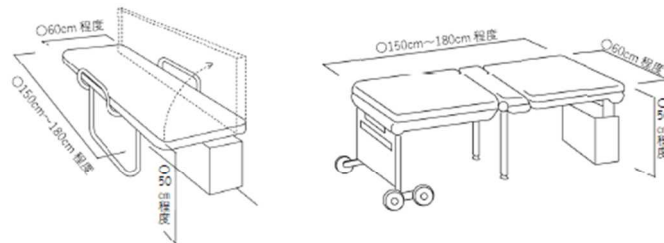


図 I.2.1.16 知的障害者に配慮した小便器



・大型ベッドとベビーベッドは寸法や耐荷重に違いがあることに留意する。
 なお、大型ベッドを設置し、ベビーベッドと兼用することは可能である。

図 I.2.1.17 大型ベッド

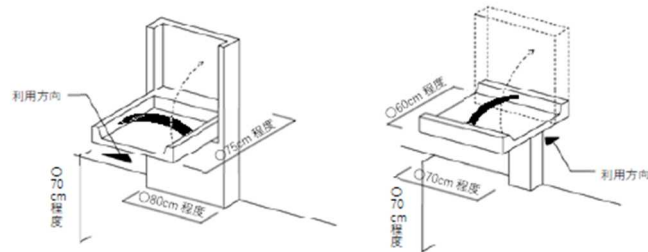
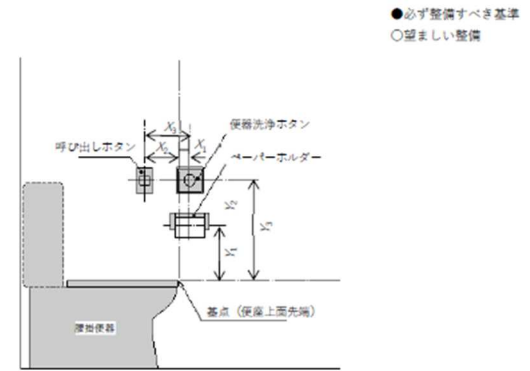


図 I.2.1.18 ベビーベッド



単位: mm

器具の種類	便座上面先端(基点)からの水平距離	便座上面先端(基点)からの垂直距離	二つの器具間距離
紙巻器	X_1 : 便器前方へ 約 0~100	Y_1 : 便器上方へ 約 150~400	-
便器洗浄ボタン		Y_2 : 便器上方へ 約 400~550	Y_2 : 約 100~200 (紙巻器との垂直距離)
呼出しボタン	X_2 : 便器後方へ 約 100~200		X_2 : 約 200~300 (便器洗浄ボタンとの水平距離)

図 I.2.1.11 洗浄ボタン等の標準配置例 (「JIS S 0026」による)

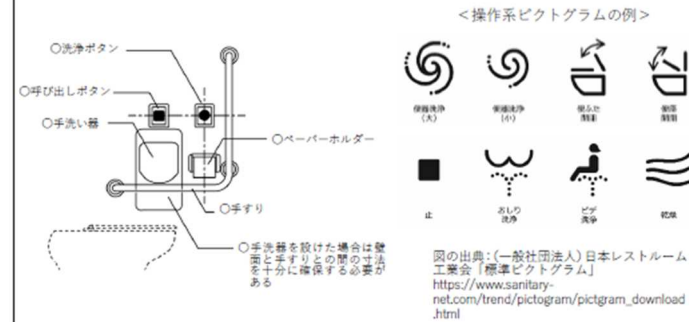


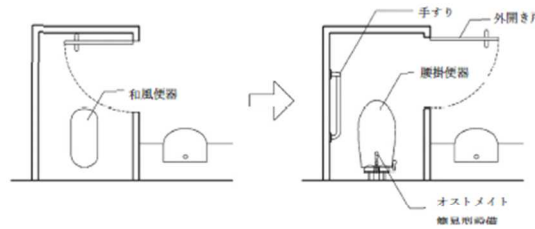
図 I.2.1.12 手洗器を設ける場合の洗浄ボタン等の配置例

●必ず整備すべき基準
○望ましい整備

・改善・改修により、車いす使用者用便所を設ける場合や、和風便器から腰掛便器に変更する場合には、総便所数が減る可能性があるため、利用者の実態に応じて便所数の設定や、配置に留意する。

・一定規模・期間の工事が必要となることから、施設を運営しながら改善・改修を実施する場合には、工事の実施時期（休館日や夏休み等での工事の実施）、仮設便所の設置、工期の短縮に努めること等の工夫が必要となる。

改善例1



改善例2

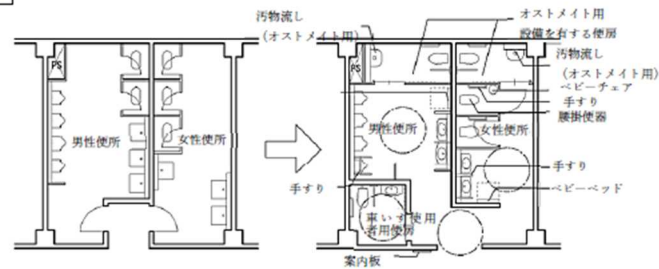


図 I.2.1.20 便所・洗面所の改善例

●必ず整備すべき基準
○望ましい整備

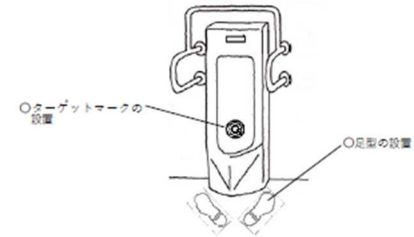
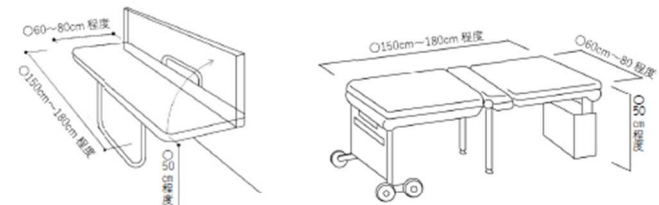


図 I.2.1.16 知的障害者に配慮した小便器



・大型ベッドとベビーベッドは寸法や耐荷重に違いがあることに留意する。
なお、大型ベッドを設置し、ベビーベッドと兼用することは可能である。

図 I.2.1.17 大型ベッド

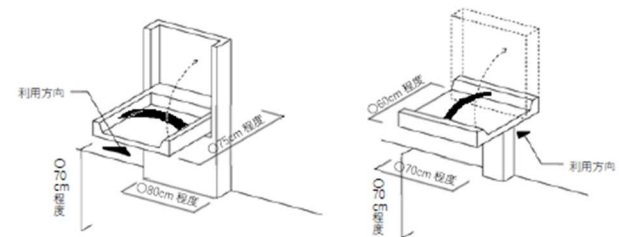
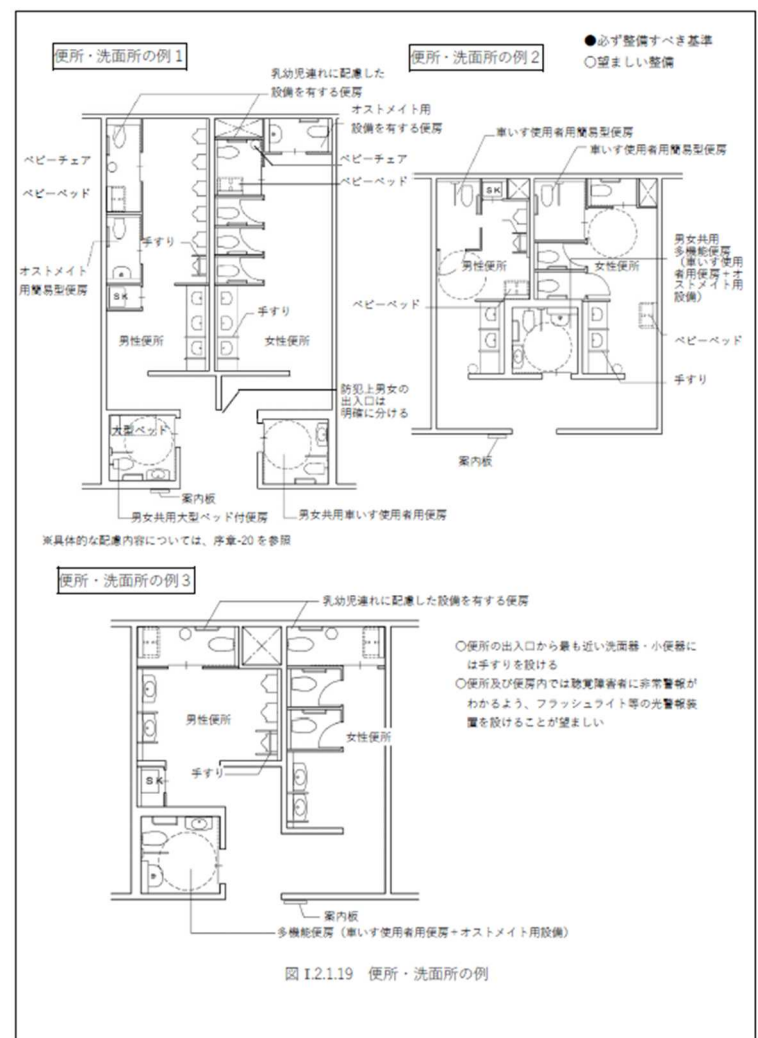
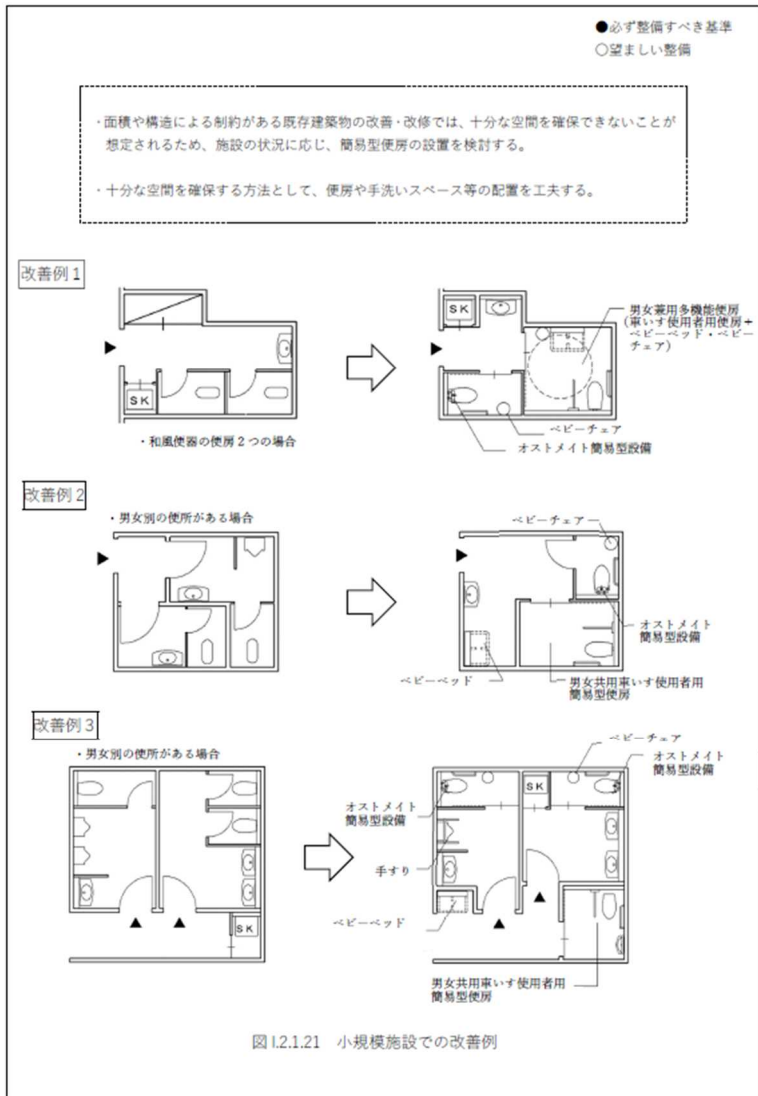
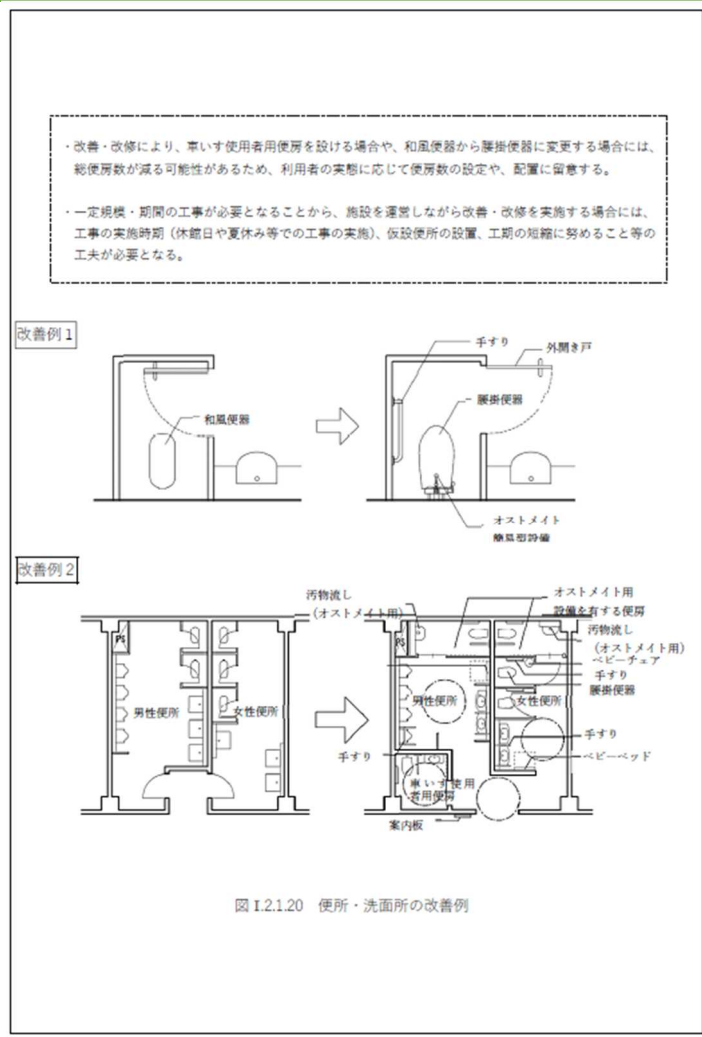
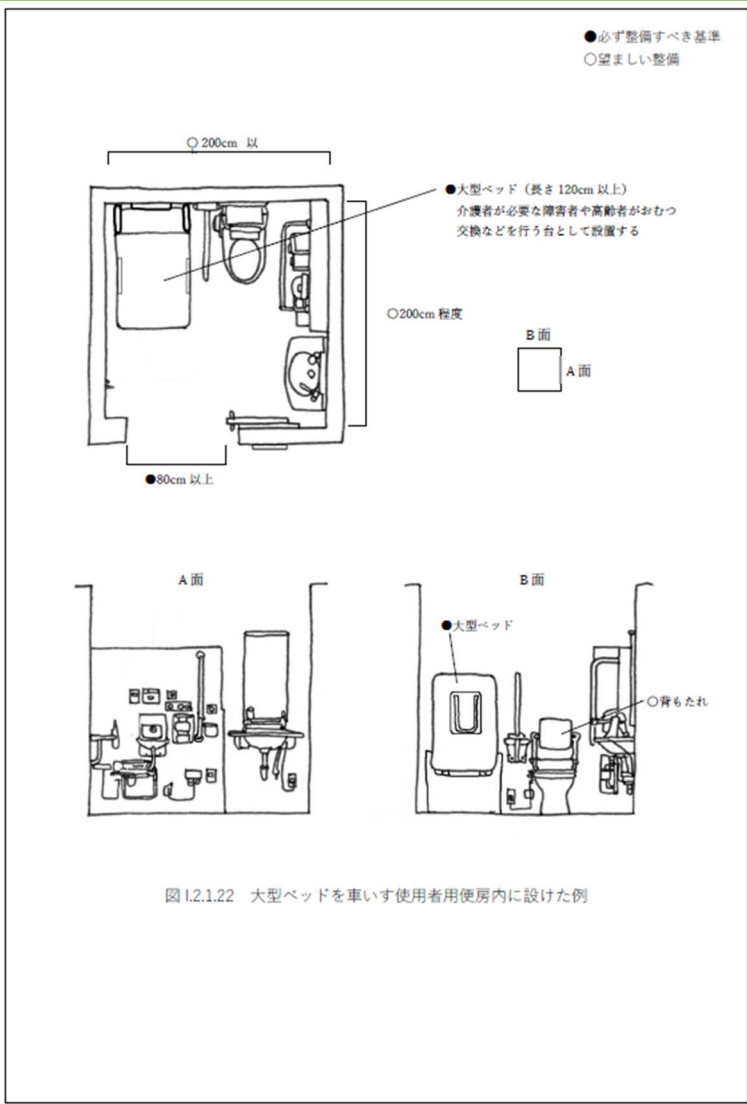
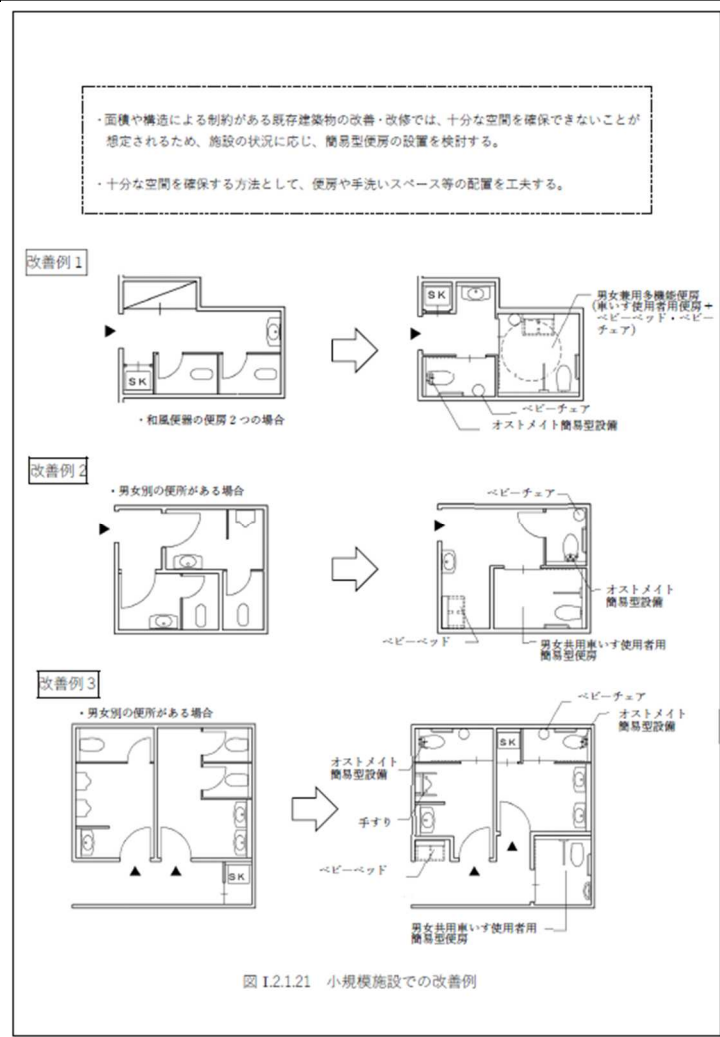
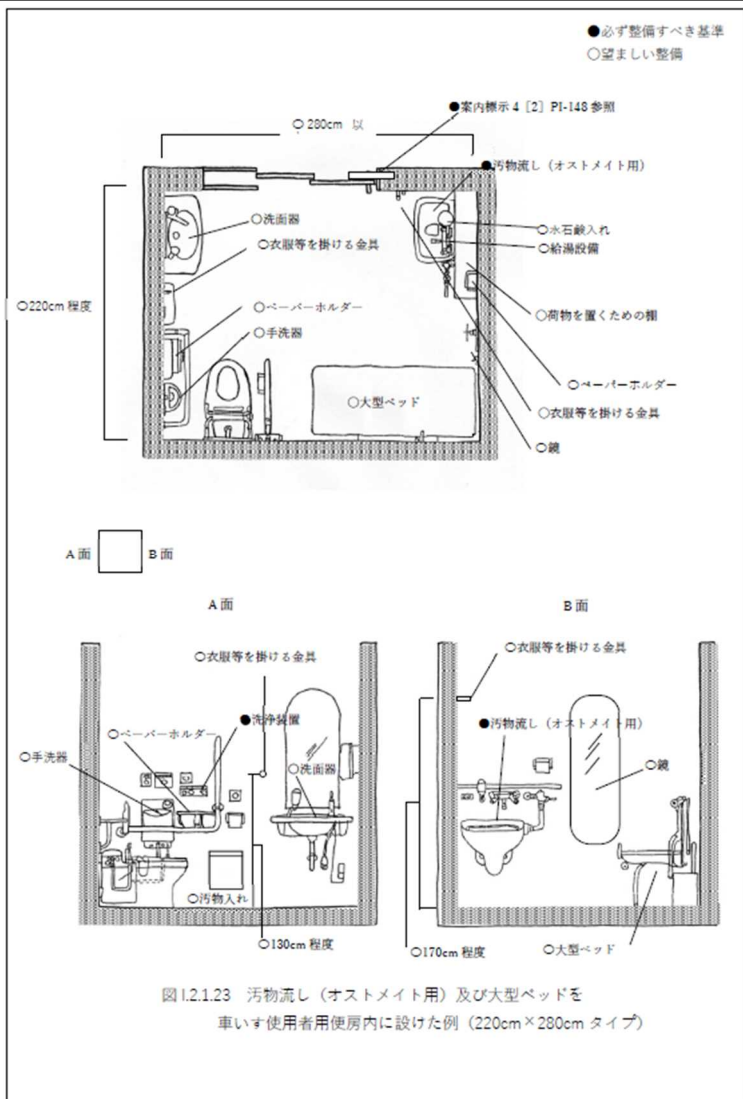
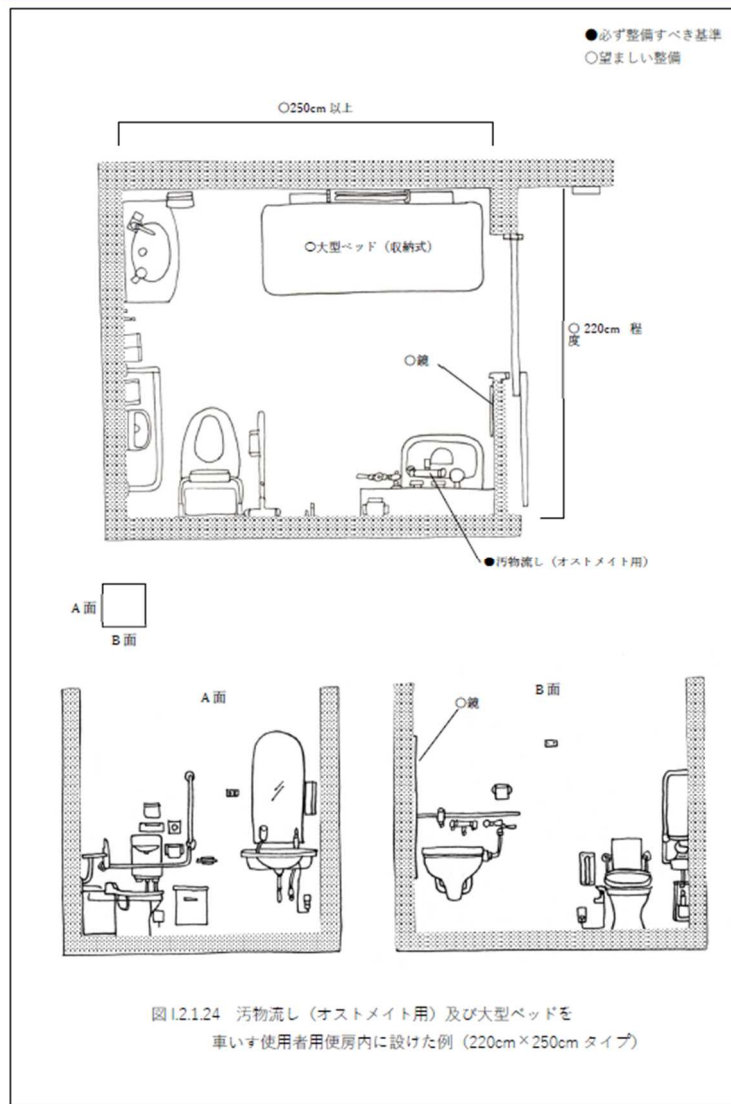


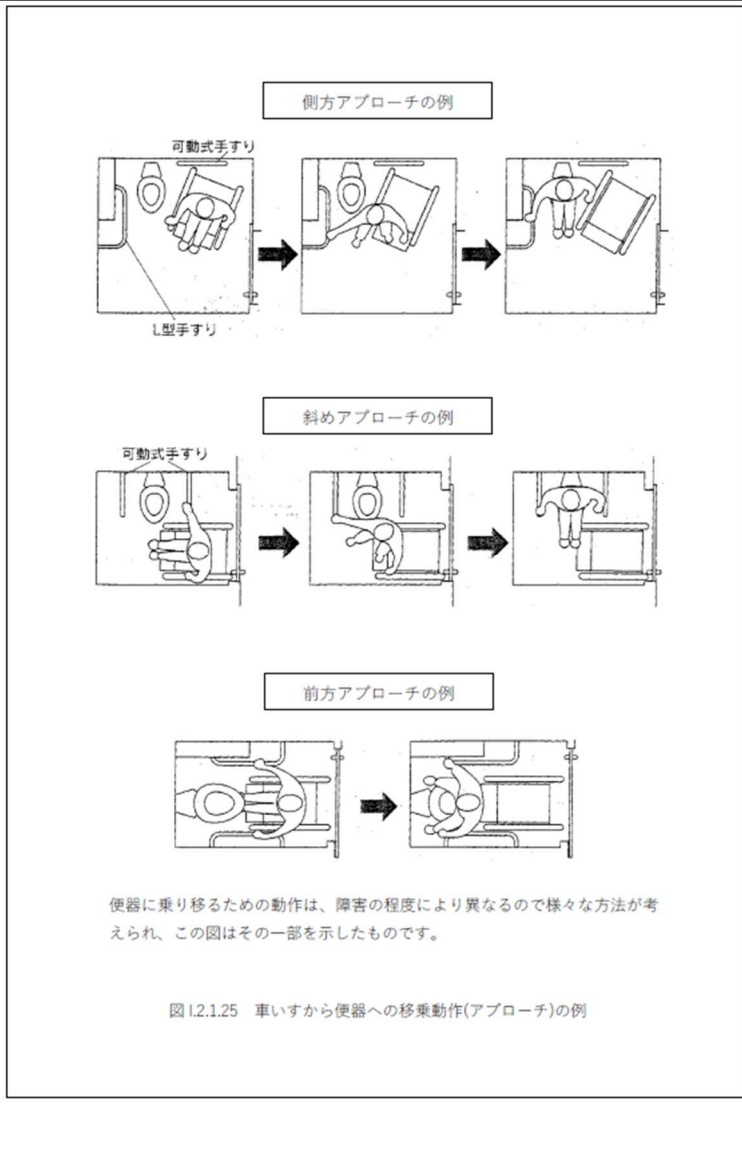
図 I.2.1.18 ベビーベッド











I - 91



汚物流し(壁掛タイプ) 汚物流し(壁掛タイプ) パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれ

図 I.2.1.27 オストメイト対応設備の例

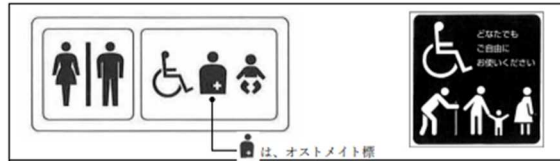


図 I.2.1.28 表示の例(1)



図 I.2.1.29 表示の例(2)



図 I.2.1.30 小児用洗面器



図 I.2.1.31 大型ベットの例



図 I.2.1.32 着替え台の例



汚物流し(壁掛タイプ) 汚物流し(壁掛タイプ) パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれ

図 I.2.1.25 オストメイト対応設備の例

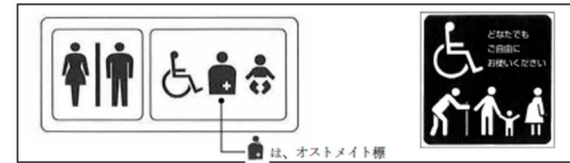


図 I.2.1.26 表示の例(1)



図 I.2.1.27 表示の例(2)



図 I.2.1.28 小児用洗面器



図 I.2.1.29 大型ベットの例



図 I.2.1.30 着替え台の例

I - 92

建築設計標準 P2-117

削除

I - 93

(図 I.2.2.2)

(図 I.2.2.5)

I - 94

○その他 I・3・[1] 手すり (P. I-116)」の項参照。


○その他 I・3・[1] 手すり (P. I-125)」の項参照。

I - 98

建築設計標準 P2-117

削除

【第1章】建築物等の整備に関する事項(2-2)	I - 105	建築設計標準 P2-156	削除
	I - 112	○車いす使用者席は、必要とする人が選択できるような制限分散させる。	○客席総数 200 超の場合には、2ヶ所以上に分散して配置する。
		建築設計標準 P 2-128	削除
	I - 113	○車いす使用者席から舞台に至る経路は、幅 120cm 以上とし、高低差がある場合は「1. 移動に関する事項(6) 傾斜路(P78)」の項による構造の傾斜路または段差解消用昇降機を設ける。	○車いす使用者席から舞台に至る経路は、幅 120cm 以上とし、高低差がある場合は「1. 移動に関する事項(6) 傾斜路(P. I - 37)」の項による構造の傾斜路または段差解消用昇降機を設ける。
	I - 117	建築設計標準 P2-101	削除
I - 123	 <p>○室内信号装置の設置 緊急通報ボタン(左)又は従業員からの電話連絡に反応し、文字情報や光(パトライト)で火災等の発生を伝える装置</p>  <p>○文字情報等を表示するディスプレイの設置 緊急時や情報を伝達したい場合に事態を文字情報で伝える。</p>  <p>○フラッシュライトの設置 短時間の放電発光を利用した点滅が、緊急事態であることを伝える。</p> <p>図 I.2.6.8 聴覚障害者に配慮した設備</p>	<p>非常警報装置(ハード面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュライト等の火災警報装置(光警報装置)の設置といった「ハード面(施設整備)」のほか、点滅や振動によって伝える室内信号装置(ドアノック音等を受信する装置)の貸し出し等、聴覚障害者等への非常時の情報伝達に配慮する。ソフト面の工夫とあわせて計画することが重要である。 <p><設計例></p>  <p>・壁に設置された聴覚障害者への情報伝達のためのフラッシュライト(上部)</p>  <p>・天井に設置された聴覚障害者への情報伝達のためのフラッシュライト</p>  <p>・インターホンが押されると、光るフラッシュライト</p> <p>図 I.2.6.8 聴覚障害者に配慮した設備</p>	

【第1章】建築物等の整備に関する事項(3)	I - 125	建築設計標準 P2-142	削除
	I - 126	<p>関連する章</p> <p>I・1・[2] 敷地内の通路 P.I-7 参照 I・2・[5] 廊下等 P.I-31 参照 I・2・[6] 傾斜路 P.I-37 参照 I・2・[7] 便所・洗面所 P.I-63 参照</p>	<p>関連する章</p> <p>I・1・[2] 敷地内の通路 P.I-7 参照 I・1・[5] 廊下等 P.I-31 参照 I・1・[6] 傾斜路 P.I-37 参照 I・2・[1] 便所・洗面所 P.I-63 参照</p>
	I - 129	建築設計標準 P2-150	削除
	I - 131		<p>聴覚障害者等の利用</p> <p>・受付カウンター等に、聴覚障害者とのコミュニケーションに配慮した筆談ボード、タブレット端末等を常備し、「筆談で対応します。」「卓上対話支援機器等の用意があります。」という案内や筆談等の支援に関する表示(耳マーク^{※1}、手話マーク・筆談マーク^{※2})を設置する。</p> <p>※1 窓口、受付に設置した場合、聴覚障害者のために筆談等の支援ができるという意味のシンボルマーク。全日本聴聴者、中途失聴者団体連合会が著作権を管理している。</p> <p>※2 窓口、受付に設置した場合、「手話で対応します。」「筆談で対応します。」という意味のシンボルマーク。(一般財団法人)全日本ろうあ連盟が策定しており、利用のための申請等は不要である。</p>  <p>・筆談ボード(磁気式のメモボード) ・筆談ボード(感圧式の液晶パネル(電子黒板)) ・耳マークの表示 ・筆談ボード(感圧式の液晶パネル(電子黒板))</p> <p>留意点：タブレット端末</p> <p>・視覚障害者等は、スマートフォン・タブレット端末等を使用しづらいので、これらの機器に頼らずに人的対応を行う必要がある場合もあることに留意する。</p> <p>・聴聴者への筆談対応を示すマークが設置されたカウンター(受付、窓口等に設置して、聴覚障害者への対応を行っていることを示すことができる。)</p> <p>図 I.3.2.3 聴覚障害者等の利用</p>
	I - 132	●公衆電話所には出入口を設ける場合は「1 移動に関する事項(4) 出入口・玄関(P.I-21)」の項の規定による。(建 21 の(2))	●公衆電話所には出入口を設ける場合は「1 移動に関する事項(4) 出入口・玄関(P.I-22)」の項の規定による。(建 21 の(2))
	I - 134		(図 I.3.4.2)

I - 135



図 I.3.4.1 自動販売機



図 I.3.4.1 券売機

<発券機の例>



・車椅子使用者の膝が入るよう
卓上に設置された発券機



・車椅子使用者が使いやすい
高さの発券機（番号札）

図 I.3.4.2

I - 136

建築設計標準 P2-155

(図 I.3.5.2、図 I.3.5.4)

削除

(図 I.3.5.4)

I - 137	 <p>図 I.3.5.2 コンセント・スイッチの高さ</p>	 <p>・床から110cmの高さに統一して、設けられた戸の施錠・解錠ボタン、ドアモニター、空調スイッチ</p> <p>・電動車椅子のバッテリー充電のため、床から40cmの高さに設けられたコンセント</p> <p>図 I.3.5.2 コンセント・スイッチの高さ</p>
I - 139	建築設計標準 P2-153	削除
I - 140		 <p>車いす使用者等優先レジの例</p>

	I - 141	 <p data-bbox="638 587 918 609">図 I.3.6.2 車いす使用者等優先レジ</p>	 <p data-bbox="1456 534 1624 555">図 I.3.6.2 自動販売機</p>
【第1章】建築物等の整備に関する事項(4)	I - 143	建築設計標準 P2-170、254	削除
【第	II - 2	●：政令・条例の基準	●：必ず整備すべき基準

2章】
道路
に関する
事項

II-6

解説図一覧	
図II.2.1 歩道の縁端と車道等との段差の例	P.II-7
図II.1.2 歩道の切り下げ部の例	P.II-7
図II.1.3 支道と交差する場合の例	P.II-7
図II.1.4 車両乗入れ部の例	P.II-8
図II.1.5 車両乗入れ部との段差の例(参考)	P.II-8

チェック項目(条例の基準)
P.II-13 参照

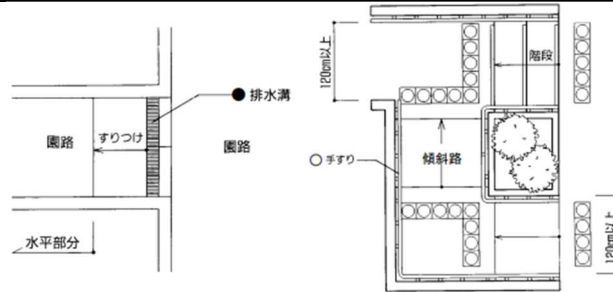
関連する章

解説図一覧	
図II.2.1 歩道の縁端と車道等との段差の例	P.II-7
図II.2.2 歩道の切り下げ部の例	P.II-7
図II.2.3 支道と交差する場合の例	P.II-7
図II.2.4 車両乗入れ部の例	P.II-8
図II.2.5 車両乗入れ部との段差の例(参考)	P.II-8

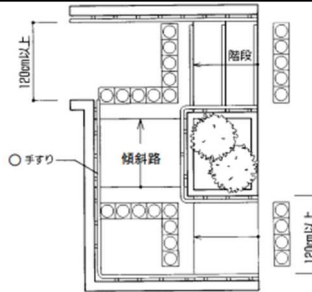
チェック項目(条例の基準)
P.II-13 参照

【第
3章】
公園
に関する
事項

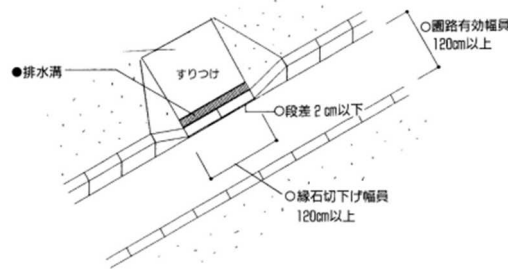
III-4



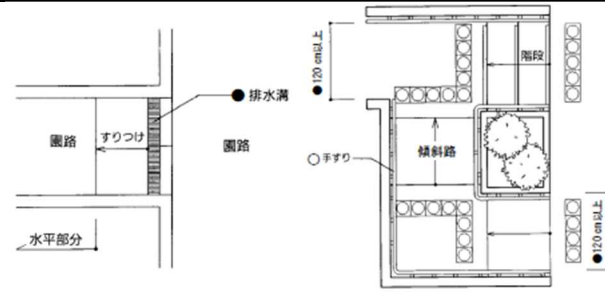
図III.1.2 段差の解消



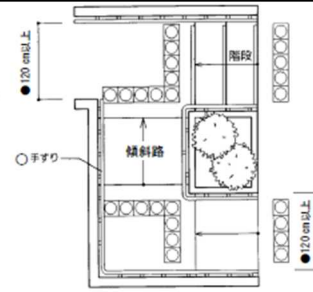
図III.1.3 傾斜路を併設した出入口の例



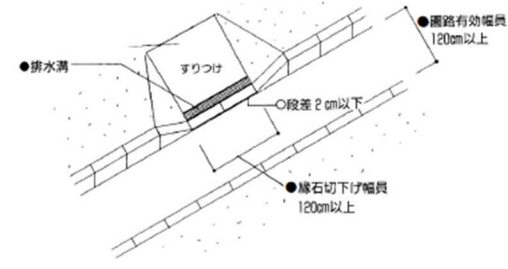
図III.1.4 園路の切下げ部



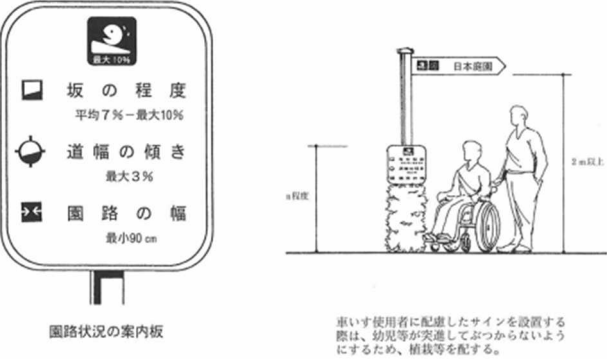
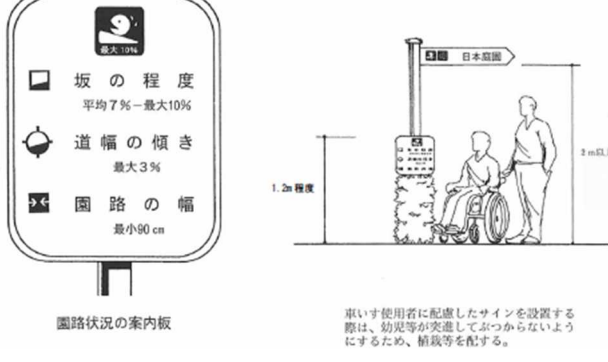
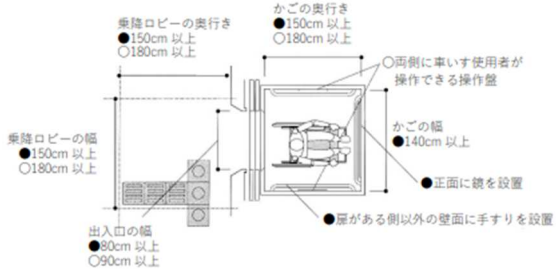
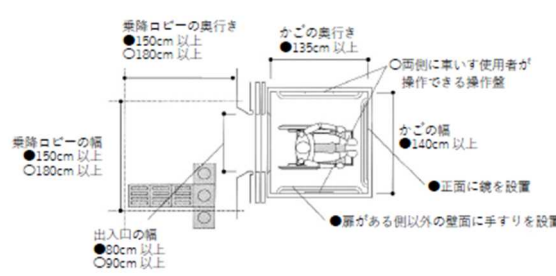
図III.1.2 段差の解消

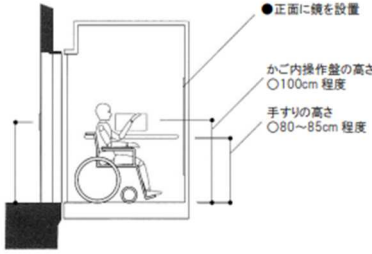
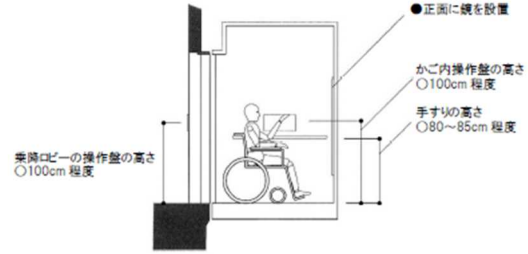
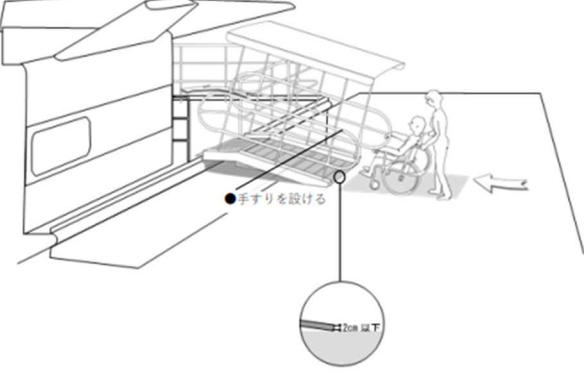
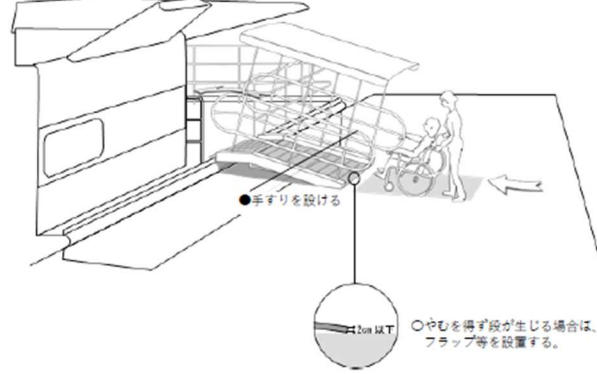


図III.1.3 傾斜路を併設した出入口の例



図III.1.4 園路の切下げ部

	III-6 III-7	I・2・[1] 便所・洗面所 (P.I-90)  <p>図III.2.3 案内板の設置例</p>	I・2・[1] 便所・洗面所 (P.I-63)  <p>図III.2.3 案内板の設置例</p>
【第4章】 駐車場 に関する 事項	IV-4	○バリアフリー仕様の例 ①パレットや通路の段差や隙間を抑える ②高さ 1m 程度に操作盤を増設 ③乗降スペースは幅 1400mm を確保 ④通路スペースは幅 900mm を確保 ⑤車いす利用者が使用できる位置に緊急停止スイッチを配置 ⑥非常脱出口の有効幅(W900)を確保 ⑦車両を確実に誘導する各種誘導設備を設置	○バリアフリー仕様の例 ①パレットや通路の段差や隙間を抑える ②高さ 100 cm程度に操作盤を増設 ③乗降スペースは幅 140 cmを確保 ④通路スペースは幅 90 cmを確保 ⑤車いす利用者が使用できる位置に緊急停止スイッチを配置 ⑥非常脱出口の有効幅 90 cmを確保 ⑦車両を確実に誘導する各種誘導設備を設置
【第5章】 公共交通 機関の 施設に	V-12	 <p>図V.3.1 エレベータの平面図</p>	 <p>図V.3.1 エレベータの平面図</p>

<p>関 する 事 項</p>	<p>V-13</p>	 <p>●正面に鏡を設置</p> <p>かご内操作盤の高さ 〇100cm 程度</p> <p>手すりの高さ 〇80~85cm 程度</p> <p>図V.3.3 エレベーターの断面図</p>	 <p>●正面に鏡を設置</p> <p>かご内操作盤の高さ 〇100cm 程度</p> <p>手すりの高さ 〇80~85cm 程度</p> <p>乗降ロビーの操作盤の高さ 〇100cm 程度</p> <p>図V.3.3 エレベーターの断面図</p>
	<p>V-17</p>	<p>回り段は段を踏み外してしまう危険がある。また視覚障害者が方向を失ったりしやすい。「I 移動に関する事項(7)階段 (P. I-39)」参照)</p>	<p>回り段は段を踏み外してしまう危険がある。また視覚障害者が方向を失ったりしやすい。「I 移動に関する事項(7)階段 (P. I-40)」参照)</p>
	<p>V-28</p>	 <p>●手すりを設ける</p> <p>12cm以下</p> <p>図V9.1 船舶に乗降するためのタラップの例</p>	 <p>●手すりを設ける</p> <p>12cm以下</p> <p>○やむを得ず段が生じる場合は、 フラップ等を設置する。</p> <p>図V9.1 船舶に乗降するためのタラップの例</p>
<p>第 VI 章 そ の他</p>		<p>追加</p>	

【第 6章】 参 考 資 料		第VI章 参考資料	第VII章 参考資料
編 集 委 員・ あ と が き・ 奥 付			
別冊			